

サスケです！

(CRF 公式キャラクター)



一般社団法人カーボンリサイクルファンド

〇設立の趣旨と CO₂吸収源へのアプローチ

一般社団法人カーボンリサイクルファンド（以下 CRF）は、2019 年 8 月に国と連携しつつ、カーボンリサイクルにかかるイノベーションの創出等を目的として設立された業種横断的な団体です。

今まで悪者扱いされていた CO₂の排出をただ「減らす」のではなく、自然・科学・生物の力を使いながら CO₂を資源として「利用」し、CO₂を循環させる「循環炭素社会」の構築を目指して活動を行っております。その中でも CO₂吸収源に着目した「吸収源活動」においては、海洋生物により吸収・貯留される「ブルーカーボン」の発展に向けて、理解普及や制度設計、技術開発を促す様々な活動を推進しております。

① カーボンクレジットの制度設計に向けた課題共有

CRF では CO₂吸収源の制度設計に関する課題共有と理解度向上を図るため、「CO₂吸収源検討会」を定期開催しており、2023 年に開催した第 2 回 CO₂吸収源検討会はブルーカーボンを議題といたしました。本検討会では、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合および、J ブルークレジット®創出企業・自治体・海中 CO₂センサーの開発メーカーの方々に集まっていただき、ブルーカーボンの取組事例や J ブルークレジット®の課題・展望に関する議論を行いました。

② ブルーカーボンを通じた地域創生に関する理解普及

CRF では会員企業が地域で推進しているブルーカーボンの取組を会員間で共有し、地域創生に繋げる機会を設けており、2024 年は葉山町にて「葉山・海浜ブルーカーボンシンポジウム」を開催いたしました。藻場保全・造成を進めている企業や研究機関が議論を行い、地域でのブルーカーボンの推進事例や、J ブルークレジット®の最新動向等が共有されました。また葉山町では、環境省が支援する「令和の里海づくり」のモデル事業を実施しており、環境省から今後推進する里海づくりの取組方針について紹介いただきました。

③ まとめ

今後もブルーカーボンにかかる国際ルール化に貢献をしていくとともに、水産庁とも連携しつつ、さかなが住みやすい藻場の造成等に取り組んでまいります。



第 2 回 CO₂吸収源検討会の様子



葉山町「令和の里海づくり」
モデル事業の実証サイト見学

